

AGMCにおける  
手指衛生指標の推移  
(第2報：2022年度更新)

AGMC-QI 22001

< ICT >

# 手指衛生の評価

## 評価法

アルコール消費量により代用

(アルコールジェルは1回1ml 換算で使用回数を算出)

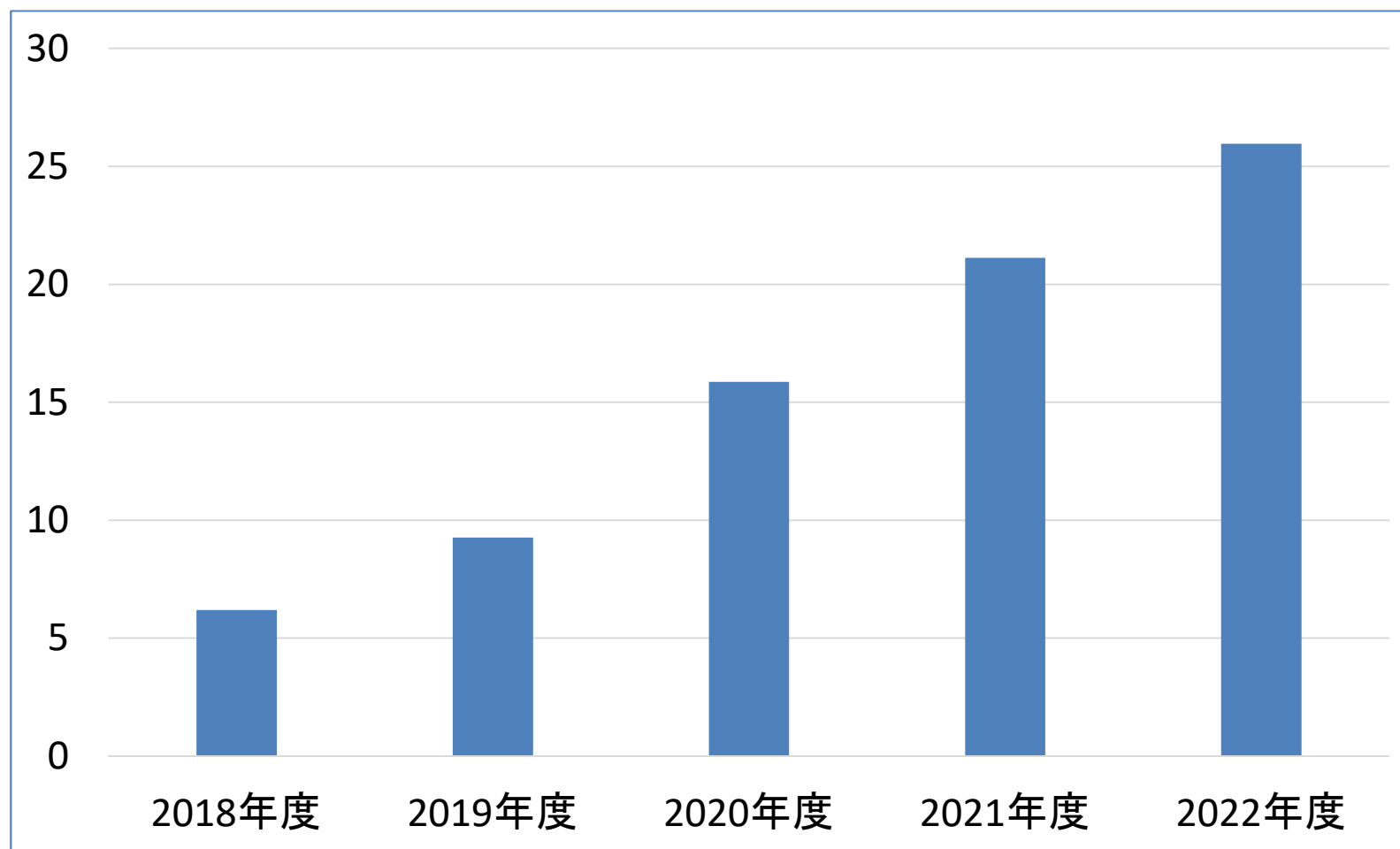
## 新型コロナの流行にともない増加

新型コロナウイルスの流行により、COVID患者に対応した病棟のみならず、それ以外の部署でも2020年度以降アルコールジェルの使用量は増加しました

その結果、目標値(一般病棟30回/HCU60回/ICU120回)に近づきました

# 手指衛生回数 一般病棟

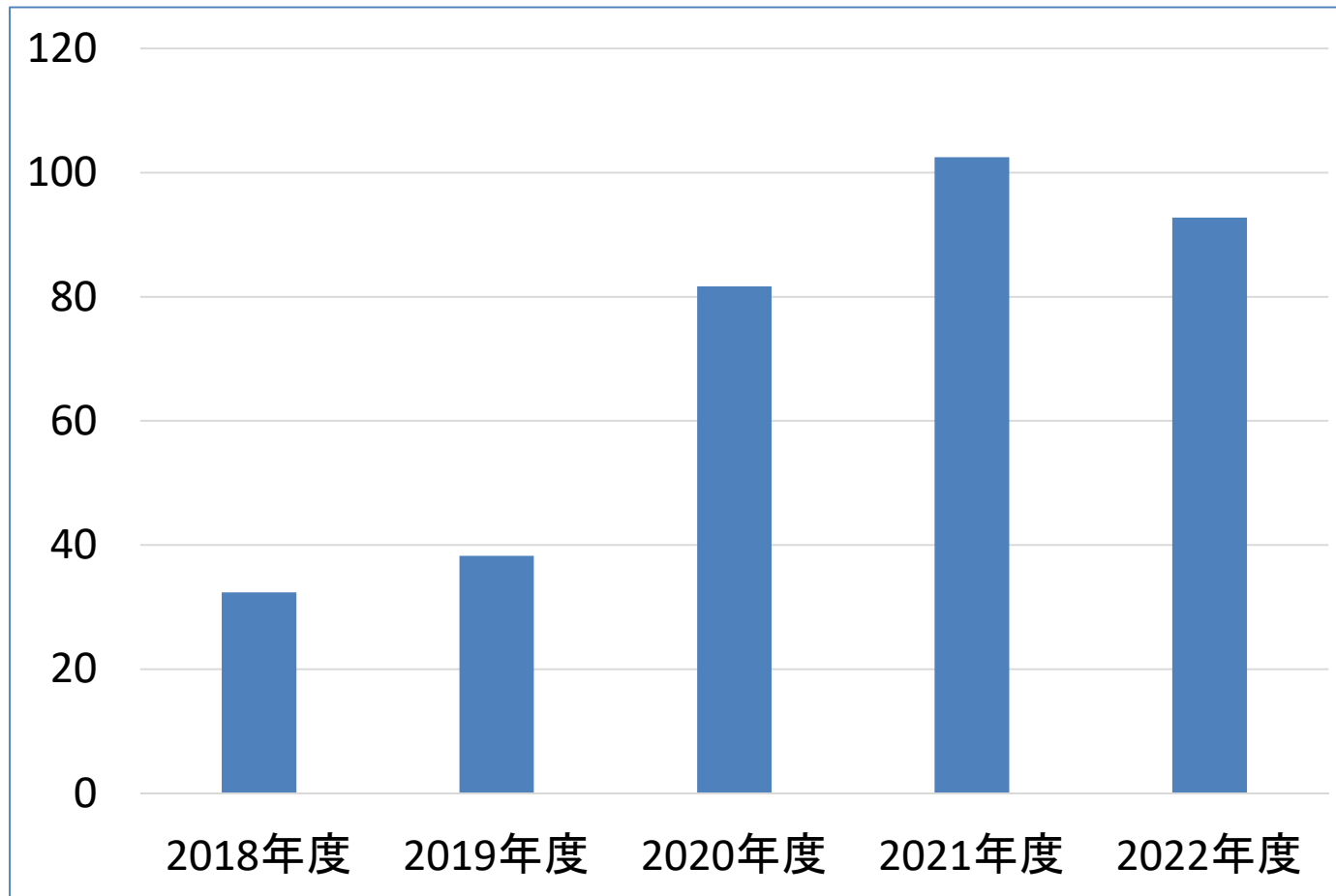
1患者1日あたりの回数、アルコールジェル1ml/回として換算



※ 2022年度は4月から1月までのデータ

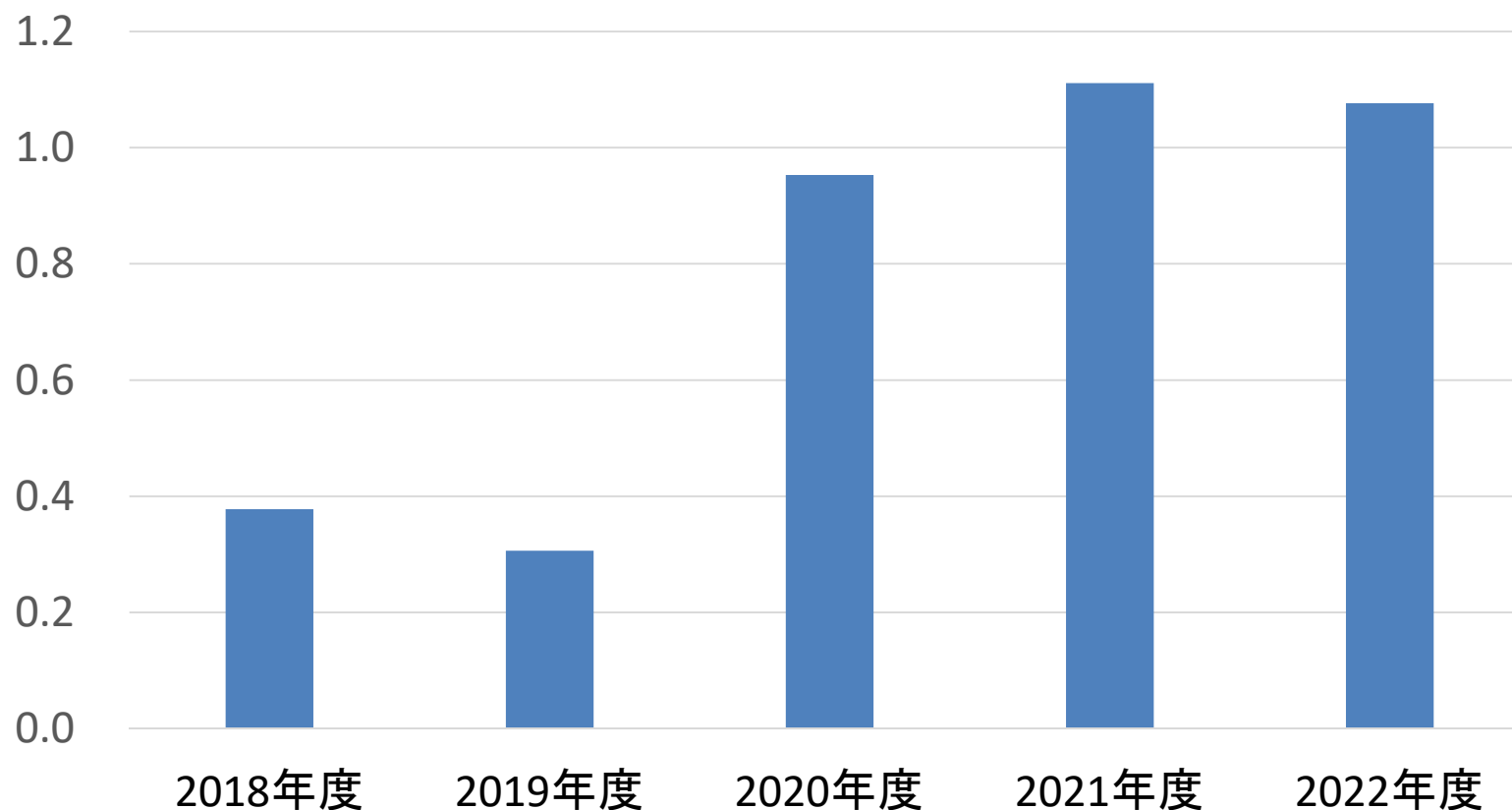
# 手指衛生回数 HCU+ICU

1患者1日あたりの回数、アルコールジェル1ml/回として換算



※ 2022年度は4月から1月までのデータ

## 外来1患者あたりの手指衛生回数



※ 外来(2階)で集計されたアルコール消費量を単純に延べ外来患者数で割って算出  
※ 2022年度は4月から12月までのデータ

# 量から質へ

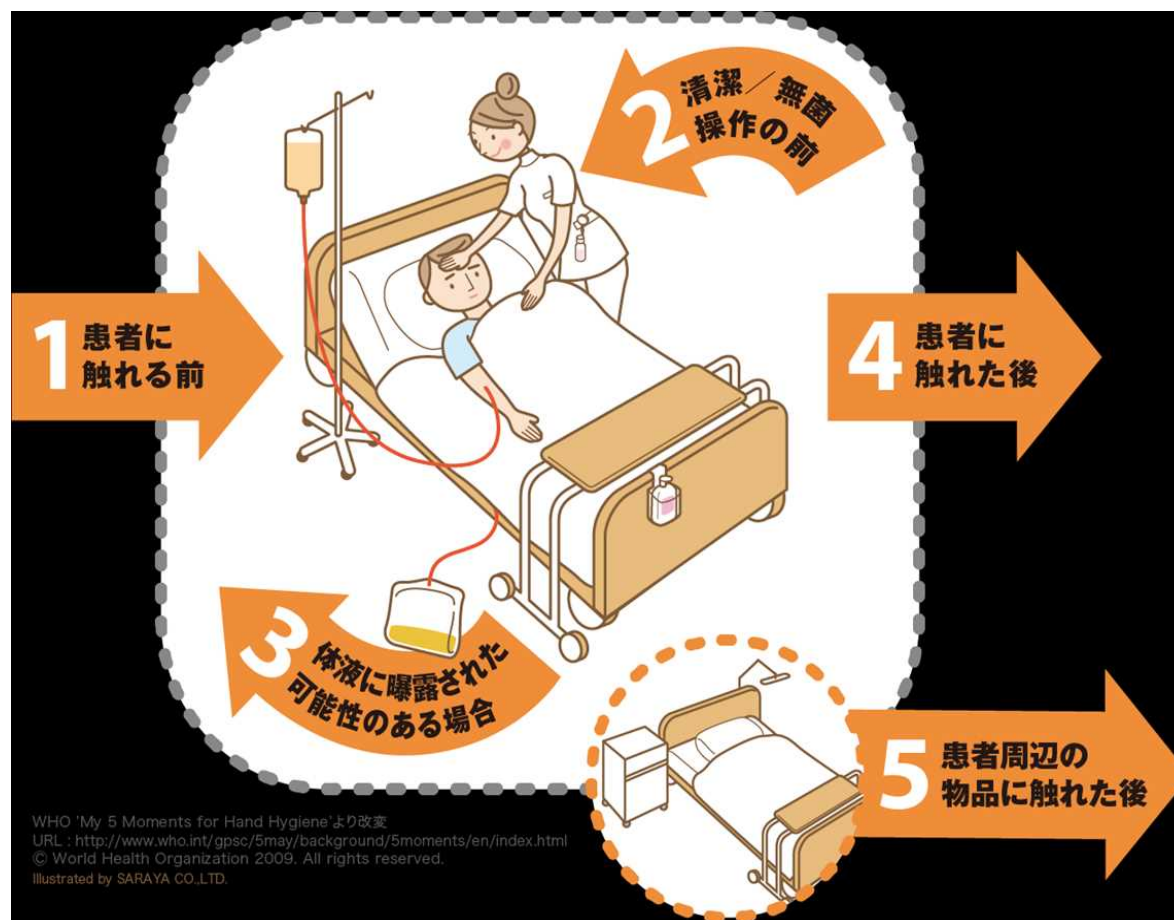
## 看護部の取り組み

手指衛生なくして感染予防策は成り立ちません。とはいえ、やみくもに行うのではなく、適切なタイミングで行うことが重要です

看護部では感染防止委員会を中心に、手指衛生が必要な場面で行われているか直接観察に取り組んでいます

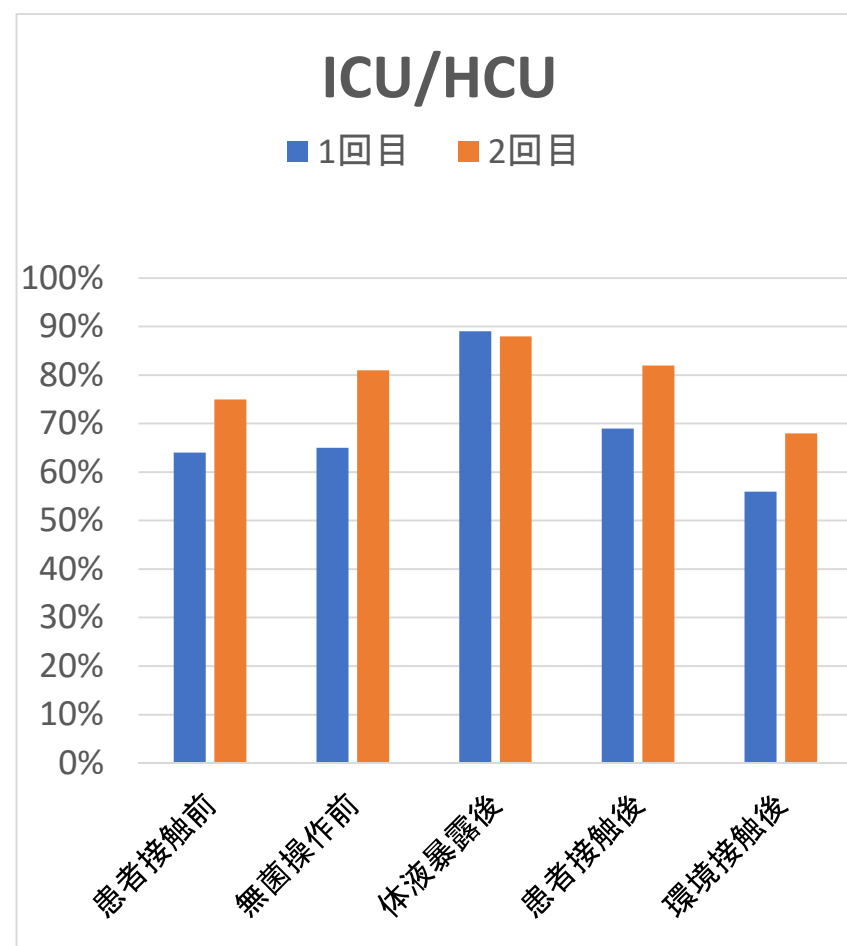
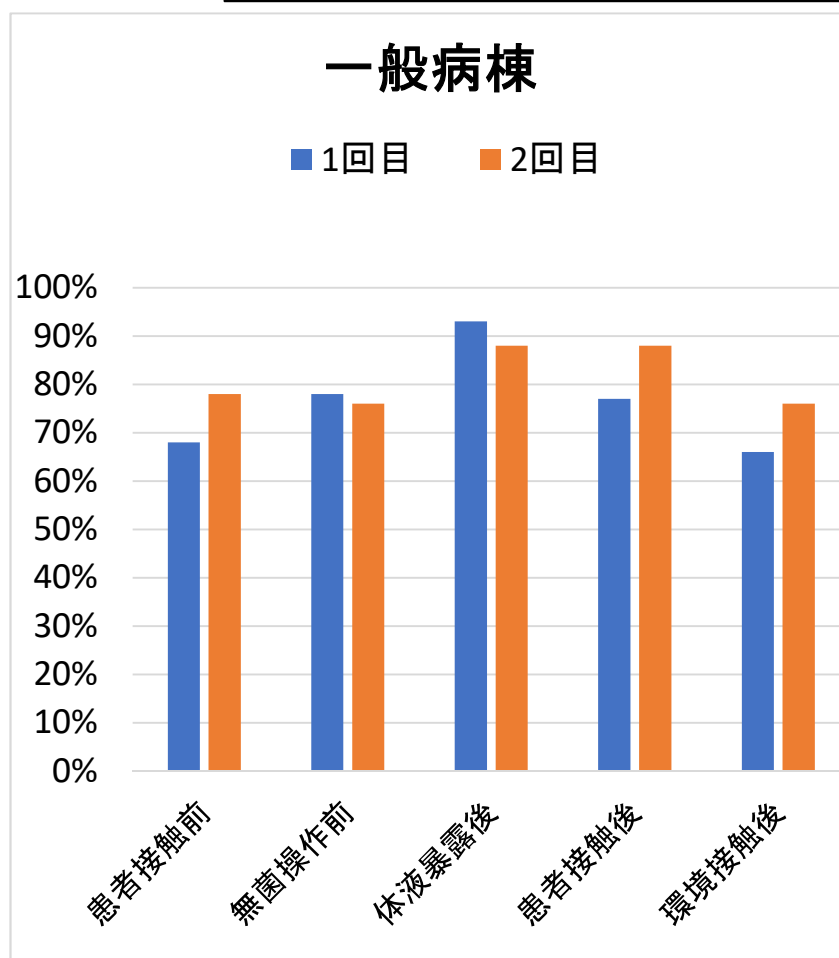
# 手指衛生が必要とされるタイミング

## WHOの5つのタイミング



# 直接観察による適切性評価

※ 看護部感染防止委員による50場面の直接観察による遵守率評価  
2022年に2回実施





# 現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、手指衛生への関心が高まりました。その結果アルコール手指消毒剤の消費量は増加し、設定目標に近づいています
- 5類感染症への移行後も、引き続き手指衛生の取り組みを継続することが重要です
- 使用のタイミングの適切さについて、看護部門で直接観察を実施し遵守率を評価しています
- 診療部等では適切なタイミングでの手指衛生についてデータ収集が難しいですが、清潔操作時/汚染時以外の場面での遵守率のさらなる向上が望まれます



World Health  
Organization



**SAVE LIVES  
CLEAN YOUR HANDS**



**CLEAN CARE  
FOR ALL  
IT'S IN YOUR  
HANDS**

**#HandHygiene**

**#InfectionPrevention**

**#HealthForAll**